

香東川公園の指定管理者

香東川公園について、香東川公園指定管理者評価委員会の評価結果を踏まえ、総合的に判断した上で、候補者を選定し、令和2年11月香川県議会での指定の議決を経て、次のとおり指定管理者を指定しました。

1 申請団体数

1 団体

2 申請期間

令和2年9月18日から令和2年9月30日まで

3 指定管理者

香川県造園事業協同組合（高松市鬼無町）

4 指定期間

令和3年4月1日から令和8年3月31日まで（5年間）

5 評価委員会における評価結果

申請者から提出された書類の確認やプレゼンテーションを実施し、総合点数方式により評価した。

(1) 評価基準

評価基準及び観点	配点ウエイト
(1) 利用者の平等な利用が確保されていること。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 不当な利用制限項目の有無 </div>	(確保されない場合は、失格)
(2) 施設の設置目的を効果的に達成し、サービスの向上が図られるものであること。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> ①施設の設置目的との適合性 ②利用者に対するサービスの向上 ③施設の利用促進への取組み ④その他新規、魅力的な提案の有無 </div>	
(3) 施設の管理経費の節減が図られるものであること。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> ①当該施設の管理運営に係る県の経費 申請者からの提案額アと最低提案額イにより評価する。 <計算式>【申請者の点数】=30×イ/ア ②実現の可能性 </div>	30
(4) 申請者が事業計画の内容を安定して遂行できる能力を有していること。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> ①申請者の実績 ②人的能力（管理運営組織） ③物的能力（経営基盤） ④申請者の安定性・信頼性 ⑤申請者の取組み姿勢 ⑥個人情報 の適正な取扱いの確保 ⑦関係法令等の遵守や利用者の安全の確保 </div>	30

(2) 評価委員会の開催経緯

- ・ 第1回評価委員会（R2.10.5～13）
 香東川公園の概要説明、申請内容等の確認
- ・ 第2回評価委員会（R2.10.20）
 プレゼンテーション、事業計画書の評価

(3) 評価結果

※点数は、評価委員の平均

	香川県造園事業協同組合
得点	76.6

- ・評価基準(1)について、平等な利用が確保できるものと評価された。
- ・評価基準(2)について、草刈の回数など、仕様書で定める以上の内容で施設の維持管理を行うほか、地域との協働清掃活動、ウォーキング教室やたこあげ教室などの各種教室の開催、行事予定や運動広場の紹介等、ホームページによる情報発信を提案するなど、施設の利用促進策についての具体的な工夫がなされていた。
- ・評価基準(3)について、積算が具体的で実現の可能性も確保されていた。
- ・評価基準(4)について、指定管理の実績が豊富で、円滑な業務の管理運営体制が提案されていた。

(4) 評価委員会委員

	役職名	氏名
委員長	香川県土木部長	西川 英吉
委員	公認会計士	石川 千晶
委員	社会保険労務士	奈良 恵子
委員	香川大学名誉教授	増田 拓朗
委員	一級建築士	佐藤 好美
委員	香川県土木部都市計画課長	萬藤 満
委員	香川県高松土木事務所長	竹内 正巳

6 事業計画の概要

(1) 委託料

	提案委託料	現行委託料
県からの年間委託料	(指定予定期間中の平均) 17,944 千円	(指定期間(H28年4月～R3年3月)中の平均) 17,013 千円

(2) 利用者サービス向上策

- ・草刈・清掃等の施設の維持管理を仕様書で定める以上の内容で実施するとともに、日常的に巡回を行い、損傷等の発見時には早急に対応する。
- ・地域との協働や各種教室・レクリエーションの開催により、施設の利用促進に取り組む。
- ・行事予定や運動広場の紹介等、ホームページや情報誌等の活用、地域コミュニティセンターへの情報発信や連携を行うとともに、教室開催のチラシ配布を行う。
- ・定期的に利用者アンケートを実施するほか、各種教室等の機会を通して利用者ニーズを把握し、管理運営の改善を図る。

(3) 経費節減策

- ・香東川公園の指定管理実績のノウハウを活かし維持管理経費の節減を図る。
- ・長寿命化計画のほか独自の修繕計画の構築、職員による予防保全対応により、修繕費の節減を図る。
- ・植栽維持管理計画の構築、有資格者の指導のもと常勤職員で管理を行うことにより、植栽維持管理費の節減を図る。
- ・3R（リデュース、リユース、リサイクル）を推進し、ゴミの排出量の削減を図り、処分費を節減する。